

平成23年4月4日

廃液タンク設備検討開始のお知らせ

イハラケミカル工業株式会社

この度、当社静岡工場において発生したリン酸廃液タンク爆発事故（平成22年3月18日）により破損・稼働停止していた液体焼却設備に付帯する廃液タンクについて、下記の通り検討を始めることといたしました。

当社は、引き続き安全管理を徹底するとともに、再発防止対策と従業員の安全意識の向上に全力を挙げて取り組み、社会的信頼の回復に努めてまいります。

記

1. 検討対象設備

液体焼却2号設備に付帯する廃液タンク

2. 事故原因と再発防止対策

事故の原因と再発防止対策などの報告内容（平成22年10月7日報告）については、その後の経過によっても変更はございません。

3. 検討方針

検討対象設備については、報告しております再発防止策と専門家の助言を頂き策定した静電気災害防止指針に基づき、窒素により酸素量を爆発限界以下とし爆発に至ることを防ぐ、着火源となりうる静電気の発生・蓄積を防ぐ、及び放爆構造とする仕様の設備設計を行い、爆発・燃焼の三要素に関する複数項目の対応を講じることにより安全を確保いたします。

今後、前記方針による設計に基づき、確実な施工・管理を実施し、液体焼却2号設備に付帯する廃液タンクを設置、完成すると共に、液体焼却2号設備の安全な稼働を目指す所存でございます。

当然のことながら、併せて全社的なリスクアセスメント（潜在的な危険性または有害性を除去、低減する手法）の充実と従業員に対する安全教育の徹底に努めてまいります。

以上